

平成19年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

第1問（配点 25 点）

D社がこのままの経営政策を取り続けた場合に生じると考えられる問題点を、財務分析の面からの確に指摘できる能力を確認する問題である。D社の財務諸表と状況説明文から判断して、自ら適切な経営指標を選択し、その名称を正しく理解し、指標値を正確に算定できるか、さらに経営政策上の問題点とその原因の所在を論理的に説明できるかを問うている。

第2問（配点 25 点）

（設問1）

D社の収益状況を、損益分岐点分析によって明らかにするために、財務諸表データを用いて変動費率および固定費を算出する能力を問う問題である。

（設問2）

損益分岐点分析を行った結果を用いて、D社がこのままの経営政策を取り続けた場合に陥る状況を問う問題である。

第3問（配点 25 点）

（設問1）

意思決定が段階的に行われ、環境が確率的に変化する場合に、期待正味現在価値を計算し、投資案採択の是非を評価する能力を問う問題である。

（設問2）

（設問1）の結果に基づいて、おのおのの段階における意思決定に照らし合わせて助言する基本的な能力を問う問題である。

第4問（配点 25 点）

（設問1）

個人情報保護法の遵守という観点からのコンプライアンスについて問う問題である。特に本問では、ウェブサイトの管理運営を外部業者に委託することを前提としており、委託にまつわる個人情報の側面からの助言能力を問うている。

（設問2）

取扱薬局での販売からインターネット販売に移行することによって、在庫、コスト構造、それに応じて運転資金等がどのように変化して行くかを問う問題である。

以上